

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 牛久市教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
※事業計画書「3. 研究主題」と同じ
3. 研究タイトル : 国際理解教育とE S D教育を柱とした「奥野学園構想」を実現し、
魅力ある学校づくりにより児童生徒の増加を目指す。
※事業計画書「4. 研究タイトル」と同じ
4. 研究課題 : ①少人数学習による英語教育及び国際理解教育の推進
②地域との連携を深めながら行う環境学習を核としたE S D教育の
推進
※事業計画書「5. 研究課題」と同じ
※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

学校が地域づくりに地域が学校づくりに取り組む双方向の関係性をつくり出し、学校及び地域の活力向上を図ることをねらいとする「おくのキャンパス構想」の施策の一つとして以下のように魅力ある教育活動を工夫していく。

① 地域人材やALTの活用による、小規模校を生かした少人数の英語指導及び国際理解教育の実践による魅力ある学校づくり

② 小規模校のデメリットを解消するため、地域住民やNPOと連携したESDの充実による地域の特性を生かした教育活動の展開

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。

(2) 調査研究の実施状況（平成29年度）

◎：共通 ○：国際理解教育 ◇：ESD

月	おくのキャンパス	奥野小	牛久二中	備考
4	◎全体構想確認 ○ホストファミリー募集 文書配布 ○ホストファミリー募集 説明会	○国際理解教育年間計画の確認 ○イングリッシュタイム（15分×週3回 小・ 保育園）英語ボランティア・ALT2名配置・牛 久二中英語科教員） ○イングリッシュルーム開設（毎日昼休み） ◇総合的な学習の時間年間計画の確認	○国際理解教育年間計画の確認 ○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム練習 ◇総合的な学習の時間年間計画の確認 ◇総合的な学習の時間に係る「ササ基金との打 合せ」（1年） ◇歩く会実施	◎放課後 カッパ塾 ○土曜 カッパ塾 ○日曜 カッパ塾
5	○ホームステイ受入委員 会設立総会 ○ホームステイ担当者会 議 ◎小規模特認校プロジェ クト推進委員会	○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○ホストファミリー説明会 ◇奥野地区「生き物の道」座学（3、4年、 NPO）	○英語教育少人数指導とALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム練習 ◇総合的な学習の時間オリエンテーション（1 年） ◇古民家フィールドワーク（1年）	◎放課後 カッパ塾 ○土曜 カッパ塾 ○日曜 カッパ塾
6	○ホストファミリー説明 会 ◎少子化・人口減少に対 応した活力ある学校教育 推進協議会	○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○英語学習ソフトを活用した授業 ◇奥野小ピオトープ観察（4年、NPO） ◇奥野地区歴史・文化探索①（5年、 地域ボ ランティア、市職員）	○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム練習 ○英語検定（受験者 3級7人、4級9人） ○オレンジ市生徒受入委員会設立 ◇生徒総会「『おくのキャンパス』について （国際理解教育・ESD）について考える」 （全校） ◇保育園との交流（2年） ◇古民家フィールドワーク（1年） ◇おくのふれあいまつり計画・準備 ◇職場体験学習計画（2年）	◎放課後 カッパ塾 ○土曜 カッパ塾 ○日曜 カッパ塾
7	◎おくのふれあいまつり ◎小規模特認校プロジェ クト推進委員会 ◎評価アンケート	○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○全校イングリッシュタイム ○オレンジ市生徒スカイプ交流 ◇奥野地区自然探索①（4年、NPO） ○英語学習ソフトを活用した授業	○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム市内大会（7/ ◇古民家フィールドワーク（1年） ◇職場体験学習（2年） ◇地区生徒懇談会（全校） ◇ふれあいまつり計画・準備・実施（全校） ◇地区生徒ボランティア活動（全校）	◎放課後 カッパ塾 ○土曜 カッパ塾 ○日曜 カッパ塾
8	◎第2回小中合同研修会 ○ホームステイ推進部会 ○第3回学校運営協議会	○オレンジ市生徒スカイプ交流	○インタラクティブフォーラム県南大会 （8/3） ◇職場体験学習（2年） ◇地区生徒ボランティア活動（全校）	
9	◎地域コーディネーター 打合会 ○ホームステイ推進部会 ◎小規模特認校プロジェ クト推進委員会	○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○オレンジ市生徒スカイプ交流（ホームステイ 家族） ◇奥野地区自然探索②（4年、NPO） ◇奥野小・牛久二中ピオトープ観察（3年、 NPO） ◇奥野地区歴史・文化探索②団子念仏（5年、 保護者） ◇エコクッキング学習会（5年親子）	○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○循環型社会のまちづくりの提案に向けた授業 ◇職場体験のまとめ（2年）	◎放課後 カッパ塾 ○土曜 カッパ塾 ○日曜 カッパ塾

10	<p>◎コミュニティ・スクール研修会</p> <p>◎市民体育祭（オレンジ市生徒参加）</p> <p>◎オープンキャンパス</p> <p>○ホームステイ推進部会</p> <p>○ホームステイ実施</p> <p>◎第4回学校運営協議会</p> <p>◎東大・大学院研究調査</p> <p>◎小規模特認校制度による利用者募集（チラシ配布）</p>	<p>○イングリッシュルーム</p> <p>○イングリッシュタイム</p> <p>○オレンジ市生徒訪問・交流</p> <p>◇リサイクルセンター出前授業（4年親子）</p> <p>◇小中クリーン活動</p> <p>◇奥野地区自然探索③（4年, NP0）</p> <p>◇クリーンセンター見学（4年）</p> <p>◇キャノンビオトープ観察（3年, NP0）</p> <p>◇奥野地区歴史・文化探索③（5年, 市文化芸術課）</p> <p>◇奥野地区歴史・文化探索③（5年, 市文化芸術課）</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○秋輝祭（文化祭 インタラクティブフォーラム実演英語寸劇実演）</p> <p>○オレンジ市生徒来校</p> <p>○英語宿泊研修（ブリティッシュヒルズ）計画作成</p> <p>○英語検定（受験者 準2級 2人, 3級10人, 4級2人）</p> <p>○英語スピーチコンテスト参加（2年 1人）</p> <p>◇魅力あるおくのキャンパスに向けての授業（1年）</p> <p>◇「おくの」から発信するまちづくり（3年）</p> <p>◇小中合同クリーン活動の実施（全校）</p> <p>◇市民体育祭への参加（全校）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
11	<p>◎オープンキャンパス</p> <p>◇ESD推進協議会</p>	<p>○奥野っ子ステージ成果発表（1, 2年）</p> <p>◇奥野っ子ステージ成果発表（3～6年）</p> <p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p> <p>○◇中学校1日体験入学（6年）</p> <p>○英語学習ソフトを活用した授業</p> <p>◇奥野地区ゴミ調査活動（4年）</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○英語宿泊研修（ブリティッシュヒルズ）計画作成</p> <p>○英語宿泊研修（ブリティッシュヒルズ）実施</p> <p>◇魅力あるおくのキャンパスに向けての授業</p> <p>◇保育園との交流（2年）</p> <p>◇「おくの」から発信するまちづくり（3年）</p> <p>◇ユリの里構想展開（山ユリの球根植え）</p> <p>◎小中合同交通安全キャンペーンの実施</p> <p>◎オープンキャンパス実施</p> <p>◎一日体験入学（6年 34人参加）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
12	<p>◎第3回小中合同研修会</p> <p>◎評価アンケート</p>	<p>○オレンジ市生徒スカイプ交流（ホームステイの感想等）</p> <p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p> <p>◇各活動まとめ</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>◇魅力あるおくのキャンパスに向けての授業</p> <p>◇古民家座談会の実施（1年）</p> <p>◇「おくの」から発信するまちづくり（3年）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
1	<p>◎第5回学校運営協議会</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○英語検定（受験者 準2級 2人, 3級 3人, 4級 4人）</p> <p>◇かっぱ大交流会に向けて（1年）</p> <p>◇魅力あるカリキュラムづくりに向けて（1年）</p> <p>◇「おくの」から発信するまちづくり（3年）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
2	<p>◎小規模特認校プロジェクト推進委員会</p> <p>◎小中合同研修会</p> <p>◎少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進協議会</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p> <p>◇ESD推進事業かっぱ大交流会</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○インタラクティブフォーラム練習</p> <p>◇かっぱ大交流会参加・発表（1年）</p> <p>◇「おくの」から発信するまちづくりまとめ（3年）</p> <p>◎一日体験入学（6年 35人参加）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
3	<p>◎第6回学校運営協議会</p> <p>◎次年度の計画</p> <p>◎各活動のまとめ</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>◎各活動のまとめ</p> <p>◎次年度の計画</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

① 児童・生徒数の変容（平成28年度小規模特認校試行, 29年度実施）

【小規模特認校制度による転入児童・生徒数】

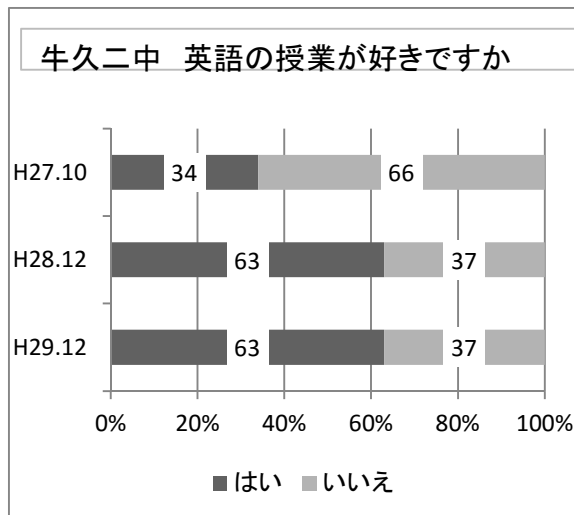
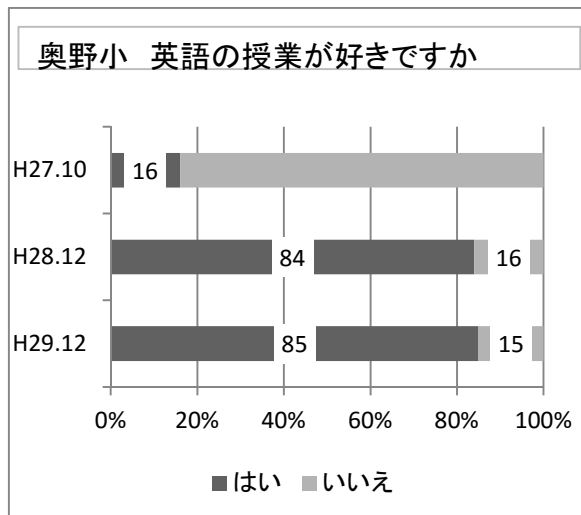
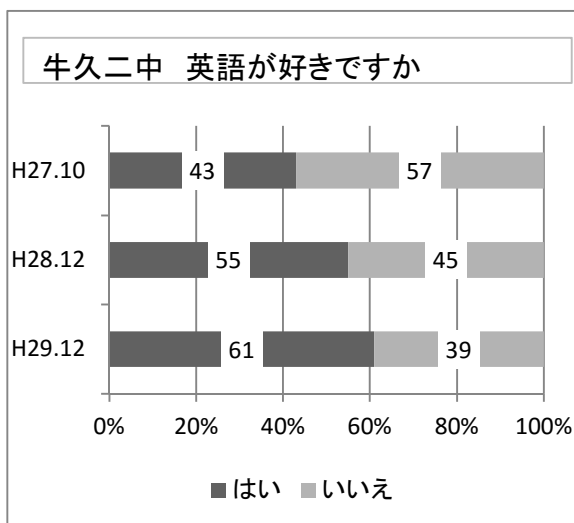
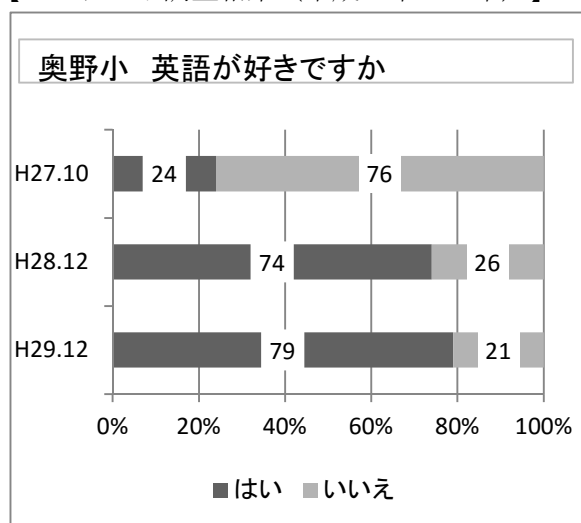
奥野小学校	平成28年度	7名/191名（1年4名, 3年1名, 4年1名, 5年1名）
	平成29年度	32名/202名（1年8名, 2年6名, 3年6名, 4年4名, 5年5名, 6年3名）
	平成30年度(予定) ※平成30年2月9日現在	42名/208名（1年13名, 2年8名, 3年6名, 4年6名, 5年4名, 6年5名）
牛久第二中学校	平成28年度	4名/ 90名（1年3名, 2年1名）
	平成29年度	5名/ 90名（1年1名, 2年3名, 3年1名）
	平成30年度(予定) ※平成30年2月9日現在	8名/ 96名（1年3名, 2年1名, 3年4名）

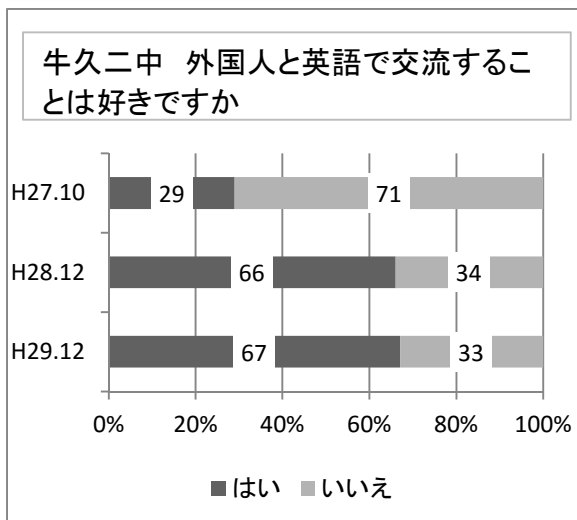
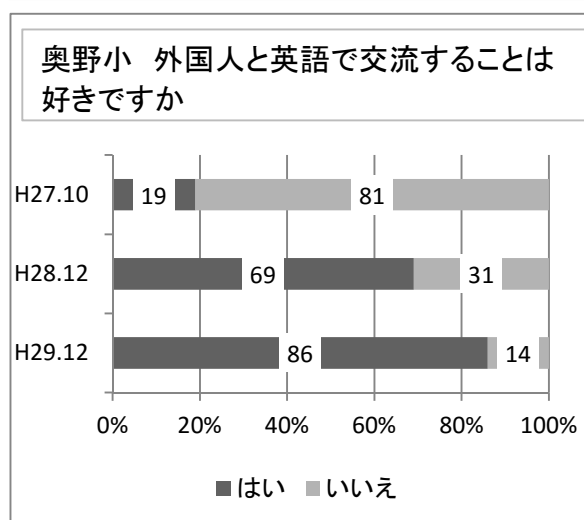
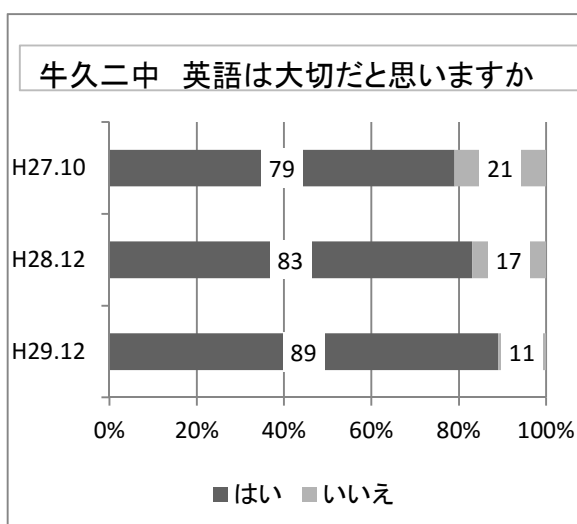
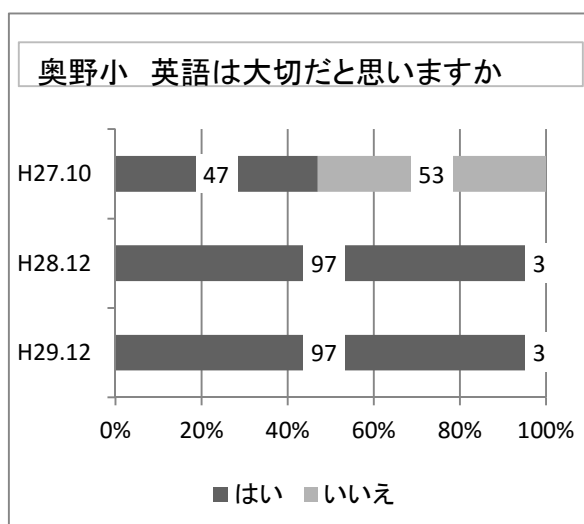
【オープンキャンパス参加者】

奥野小学校	平成28年度	18名（年長5名, 1年4名, 2年5名, 3年2名, 4年1名, 5年1名）
	平成29年度	21名（年長13名, 2年1名, 3年2名, 4年2名, 5年2名, 6年1名）
牛久第二中学校	平成28年度	3名（6年1名, 1年2名）
	平成29年度	3名（6年3名）

② 国際理解教育について（児童・生徒の変容）

【アンケート調査結果（平成27年～29年）】





【英語検定受験者数】

奥野小	H27 受験者 1名	合格者 0名
	H28 受験者 7名	合格者 5名
	H29 受験者 18名	合格者 8名
牛久二中	H27 受験者 40名	合格者 10名
	H28 受験者 42名	合格者 10名
	H29 受験者 39名	合格者 22名

【国際理解教育についての考察】

◆奥野小

・「英語の授業が好き」という項目が大きく伸びている。週3回のイングリッシュタイムを継続し、2人のALTと英語ボランティアから楽しくイングリッシュタイムの授業を進めてもらったことが、この項目の伸びの要因であると考えられる。

・「英語は大切だと思う」の項目では、2年目以降、ほぼ全員(97%)の児童が肯定的に答えている。オーストラリア・オレンジ市生徒とのスカイプによる交流、3年目のホームステイ等を通じて、英語を話すことの必要感が高まったことが、この項目の伸びの一因であると考えられる。

・「外国人と英語で交流することが好き」という項目が大きく伸びている。イングリッシュタイムと共に、イングリッシュルームを設置し、ALTと常時交流する機会をもてるようにしたこと、そして3年目にオーストラリア・オレンジ市からホームステイを受け入れ、交流活動を行ったことが、この項目の伸びの要因に結びついたと考えられる。

・保護者の要望からPTA研修委員会主催の「英語研修」を行ったり、ホストファミリーとしてホームステイにご協力いただいたりしたこと、ホームページや各種通信で情報提供等をしたことにより保護者の英語に対する意識高揚を図ったことも、「英語は大切である」の項目の伸びにつながったものと考えられる。

・「英語が好きですか」の項目では、3年間の実践活動を通じて、着実に増加している。肯定的に答えている児童は、3年目で79%とまだ十分とはいえない。苦手意識がある児童もおり、より一層、英語での会話やゲームの場面において英語を活用した成功体験を積みませたり、実社会の中で英語を生かす場面を設定したりすることで、自信を持たせ、英語が役立っていることを実感させていきたい。

◆牛久二中

・「英語が好きですか」という項目について、調査開始当初「はい」と答えた生徒は43%、そこから徐々に好きな生徒が増加し、29年度12月のアンケートでは61%の生徒が「好き」と回答している。英語の授業はクラスでの指導と少人数指導とを効果的に展開していることと、ALTが常時授業に参加し、ICTなどを取り入れるなどして授業を行っている成果が着実に出ていると考えられる。

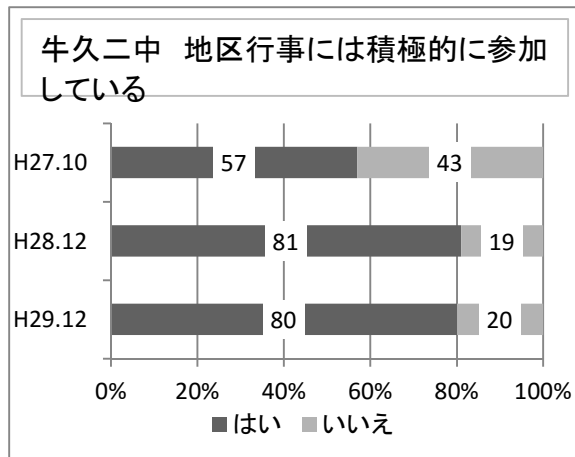
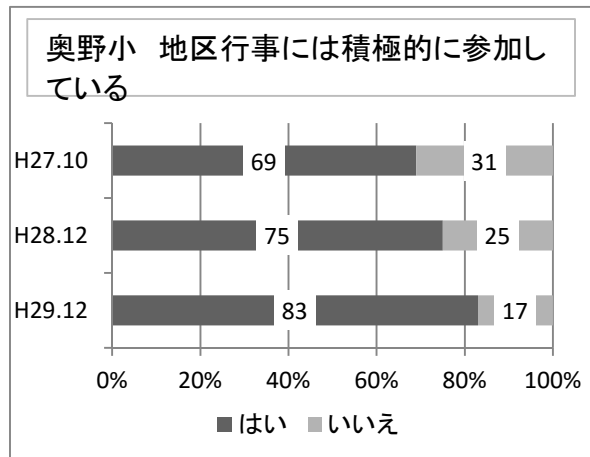
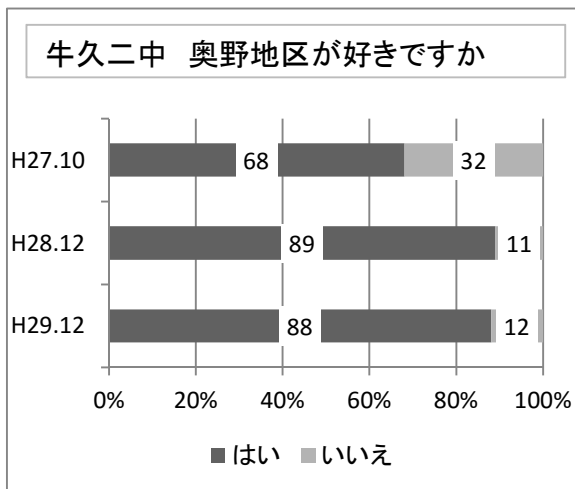
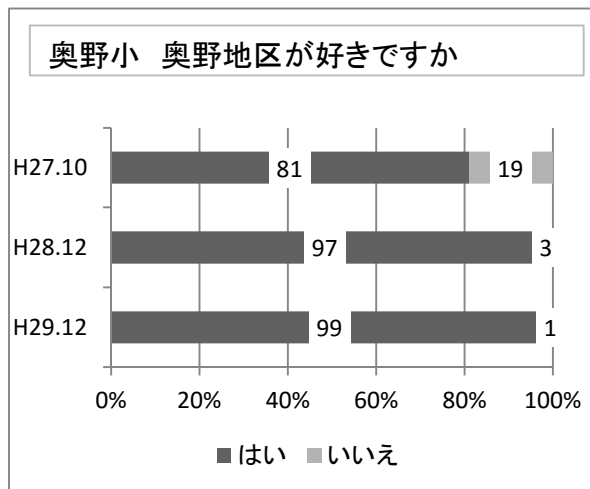
・「英語は大切だと思う」の項目については、全体の9割近い生徒が「大切だ」と感じている。これは生徒総会においてその必要性について考えたり、オレンジ市からのホームステイを受け入れ、外国人と触れ合ったり、ブリティッシュヒルズで英語宿泊研修を行ったりした影響はかなり大きいと思われる。また、「英語は大切だ」という思いは英語検定合格者の増加にも表れている。

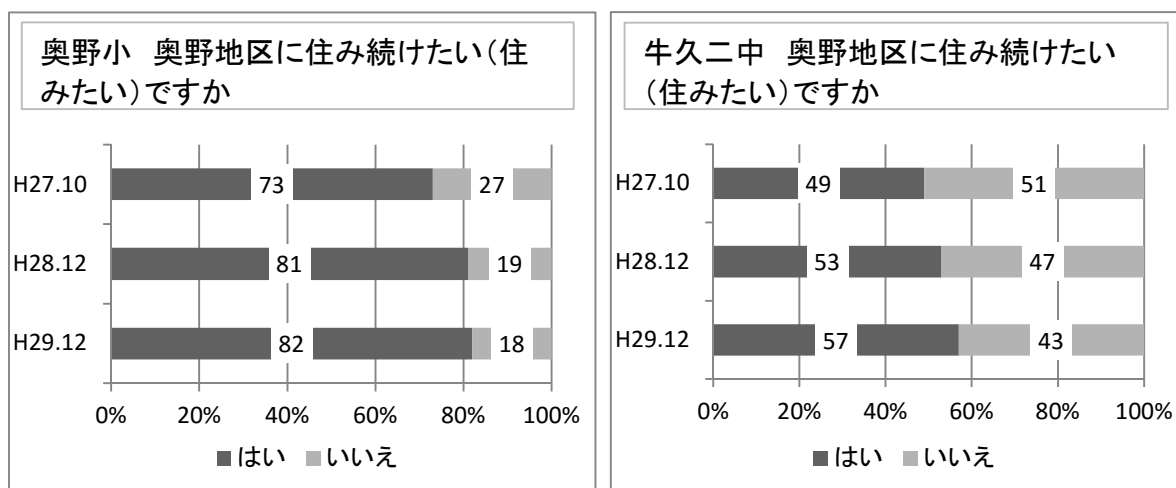
・その反面、「外国人と英語で交流することが好きですか」という項目に対しては、「好き」と回答した生徒が67%程度と低い値を示している。「英語は好きだ」「英語は必要だ」と感じながらも生きた英語につながっていない面も見受けられる。ただ、3年生のアンケート結果を見ると、6月には好きだと答えた生徒が8人にすぎなかったが、12月には18人と急増している。やはり、外国人との交流の好き嫌いには「英語の力」が身につけているかどうかとも影響があると思われる。

・本校の課題は明らかに「生きた英語」を身に付けることである。外国人との交流を積極的に英語で行える生徒を80%台まで引き上げたい。また、卒業時まで英語検定3級を取得している生徒も80%台にしたい。さらに、インタラクティブフォーラムにおける上位入賞もめざしたい。そのためには、ALTの2人だけでなく、いろいろな外国人と英語を駆使して楽しくコミュニケーションをとる場面を設定していくことで、経験を積ませる必要がある。その楽しさが味わえるようにする必要があると考える。そのため、市内のALT全員と英会話で交流する場面やブリティッシュヒルズのような整えられた環境に赴く機会を設けていくことが、その解決策になるのではないかと考える。

③ ESDについて（児童・生徒の変容）

【アンケート調査結果（平成27年～29年）】





【ESDについての考察】

◆奥野小

・「奥野地区が好き」「奥野地区に住み続けたい(住みたい)」という項目が伸びている。特に、「奥野地区が好き」と肯定的に答える児童はほぼ全員(99%)であり、この地区に好感を持っている様子が伺える。ESDを視点とした総合的な学習の時間での環境・郷土学習や生活科での生き物の学習等をNPOや地域団体の支援を受けて計画的に実施したことが、この項目の伸びにつながったものと考えられる。

・「奥野地区が好き」「奥野地区に住み続けたい(住みたい※小規模特認校児童)」という項目の伸びについては、「奥野っ子ステージ」での発表活動や地域住民の手による日曜カッパ塾等での多様な体験活動への参加も要因にあると考えられる。「奥野地区のよさ」として自由記述では、豊かな自然に加え、地域の方々の温かさが挙げられている。様々な活動を通して地域の方々と交流することで、地域の人々のやさしさや温かさにもふれたためであると考えられる。

・「地区行事に積極的に参加している」の項目も増加している。これは、カッパ塾の活動が多彩で魅力的な内容になり、充実してきたことで、活動が大変活発になってきたためではないかと考えられる。土曜カッパ塾では、英語検定や漢字検定へのチャレンジを目的とする内容とダンス教室の二本柱で運営している。日曜カッパ塾(Sunday Okuno Kappa Academy)では、料理・折り紙・科学・自然体験・茶道・クラフト等の各教室、そして読み聞かせコンサートなどバラエティに富む内容の活動となり、毎年恒例の行事として定着しつつある。これらの活動への参加者も年々増えている。これらの活動は、保護者等への呼びかけもさらに強化し、内容も継続発展させていくことで、今後も地域行事への参加をうながしていきたい。

◆牛久二中

・「奥野地区が好き」という項目で好きだと答えた生徒は昨年度が89%、本年度88%。「奥野地区に住み続けたい」という項目において「住み続けたい」と答えた生徒は昨年度が53%、12月が57%とほぼ変化はなかった。しかしながら、3年生のみのデータを見てみると、「奥野地区が好き」と答えている生徒は89.6%と非常に高く、ESDを視点とした総合的な学習の時間での3年間の継続的な学習がこの結果に反映していると考えられる。

・「地域行事に積極的に参加している」という項目でも同じような傾向にあり、3年生で「参加している」と答えた生徒は86.2%と極めて高い。おくのふれあいまつりや地区のボランティア活動など、ほとんど3年生が中心となり実施しており、その意識の差は大きいと思われる。しかしながら、奥野地区は「自分たちが守らなければならない」「活性化させなければならない」という思いは、3年間でしっかり培われたと考える。

・アンケートにはなかなか現れていないが、総合的な学習の時間や数々の行事において奥野地区のことを知り、奥野地区のことを考えることで、自ら課題を見つけそれを解決していこうとする意欲や能力が身についてきた。しかしながら、地域の方々に協力していただいて活動したり、NPOの方々の手助けを受けた活動が多く、自ら地域に出て地域に貢献したり、地域の方一人一人のためになるような活動を展開するには至っていない。そういった活動を積極的に取り入れることで、より奥野地区を好きになり、将来奥野地区に貢献したいという気持ちが育つと思う。今後は、さらに地域に貢献できるような活動に取り組みたい。

(2) 成果物等

- 平成29年度第1回牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会要項・議事録
- 平成29年度第2回牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会要項・議事録
- 冊子「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業 平成27～29年度報告」
- 「おくのキャンパス」パンフレット

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）については、10部添付すること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）の電子媒体がある場合は、併せて送付すること。

(3) 今後の取組予定

- ・保育園から小学校，中学校への英語教育の接続プログラム
- ・社会教育（土曜カップ塾，日曜カップ塾）と連携した英語教育及び国際理解教育，各種体験活動の充実
- ・ESDの充実（小中一貫による，9年間を見通した総合的な学習の時間カリキュラムの見直し）
- ・姉妹都市オーストラリア・オレンジ市の学校との日常的な交流
- ・ユネスコスクールとして国内外の学校との交流
- ・コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校」のより一層の推進

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。